

# はと時計

一月号  
2011年1月7日  
松蔭中高図書館  
担当：北尾  
library@shoin-jhs.ac.jp



去年はものすごい災害や大雨があったり、なねでしこジャパンが活躍したりわるいこと、いいこと、うれしいこと、悲しいこといろいろありました。

今年は何事もなく、できれば平穩に過ごすことができれば・・・と思いつつ、でも“龍が天に昇るごとく”にすばらしい年にしたいものですね！みなさんは元旦に一年の計画をたてましたか。どんな一年になるでしょう。お正月、神社に初詣をして年の初めの願い事をしてきた人もいるかな。そこで新しい“龍の年”の一月は、「神社」について特集してみました。



神社とは・・・ 『日本歴史を解く100話』（文英堂）より  
太古日本人の生活の中から自然発生的に生まれた神道の神々を祭るために創建された建物の総称。まさしく「神のおやしる」ですね。生活を守るために自然界の様々なモノを崇拝するという観念からそれは「石」や「木」、「森」などの事物であったり同族を守護する「人」であったりします。  
有名な神社や建物の説明、神社の祭祀が書かれた『神社』日本史小百科 岡田米夫（近藤出版）、八百万の神と呼ばれるほど日本にはたくさんの神々が祭られています。それを系統だてて書かれた『神社のルーツ』戸部民夫（ワタナベ新書）です。特に中学生におすすめは『日本の神様』畑中章宏（理論社）で神様ってこんなかと納得がいきます。では日本人にとって神様とは何でしょうか。縄文時代から靈魂など祭る多神教（アニミズム）として信仰された民族宗教（=神道）と考えられ生活の中に溶け込んだ日本文化を支えるものと言えます。  
年中行事や各地のお祭り、いろいろなしきたりもこの神道に源を発するものが多いのもうなずけますね。

『神道入門』井上順孝（平凡社新書）  
『図説あらすじでわかる！日本の神々と神社』三橋健（青春新書）  
『図説神々と心の交流をたどる！神道』武光誠（青春新書）  
日本史小百科『神道』伊藤聡他（東京堂出版）など民間宗教として「神道」ことをくわしく解きあかしてくれる本です。  
初詣に参ったり、厄年や厄除け、学業成就・合格、安産、家内安全を願ったり、出世海運や商売繁盛から無病息災・延命長寿と様々な庶民の願い事をかなえるという謂れを持つモノなのです。どんな時代になっても人は心に不安やおそれを感じ、何か支えるものが欲しいものです。

おみくじ  
『日本おみくじ紀行』  
島武史（日本経済新聞社）  
当たるも八卦、当たらずも八卦。占いや易

おみくじはみんな大好きですね。ルーツや吉凶の功罪など、また各地の神社によって特徴や種類が載っています。例えば佐奈田神社には源平の紅白ダルマの中におみくじ

が入っていたり、句調の漢詩体、貴船神社は水神にちなんで「おみくじ」だそうですよ。霊泉に浮かべると文字が浮かび上がる「おみくじ」だそうですよ。

巫女さんになってみよう・・・  
神社で千早（ちはや）を着て緋袴の装束をしてきりりと髪を後ろに束ねた巫女さんに憧れませんか？神田明神監修『巫女さん入門 初級編』には独特の行事作法から、巫女さんの仕事などくわしく書かれた本があります。巫女とはどういう人が、写真や図でわかりやすいので、巫女に興味のある人は是非、どうぞ。実際に神田明神では平成17年から毎年8月に若い未婚女性を対象に受講者募集して「巫女さん入門講座」を神職が講義しているそうですよ。「日本の伝統や文化に触れ、神社に対する造詣を深め、日本女性としての豊かな情操を涵養すること」が目的だそうです。若いうちに一度経験したいものですね。

パワースポットに行ってみよう・・・  
『日本全国ゆるゆる神社の旅』鈴木さちこ（サンクチュアリ出版）で神社ガールになりませんか。著者は鳥居を見ると立ち寄ってしまうほど神社好き！？旅で出かけた先々にある神社を解説してくれています。しかもイラストで楽しいし、地図や神社の説明がとても面白いですよ。  
日本の年中行事が陰陽道・陰陽五行思想、呪術的な習俗と深い関係があるようですが、「不思議なこと」や「神秘的なモノ」にはなぜか神社が多い気がしませんか。テレビで不思議な霊力のあるパワースポットに芸人さんやタレントのレポーターさんが巡ったりする番組も多いですね。『不思議の旅ガイド』日本幻想紀行（人類文化社）や東京だけですが『江戸東京ご利益散歩』金子桂三（新潮社）に行ってみては？

最後に一冊・・・  
感謝と祈りの心で神様に供える“日本料理の原点”といえる神様の食事を紹介した本があります。『神饌』南里空海（世界文化社）は、普段見たことのない特別なお料理を伊勢神宮を始め、住吉大社（大阪）、北野天満宮（京都）、諏訪神社（青森）などお祭りの神事とともに写真入りで編集されたすばらしいものです。



中学一年生の総合学習は「通学路のmapを作ろう」でした。身近な所に神社がたくさんあるのに驚きます。神戸市内では310社、姫路には327社もあるそうです。『神戸の神社』『姫路の神社』（神戸新聞総合出版センター）にはそれらの神社の場所や謂れ、どんなご利益があるのかすべて紹介してあります。学校に来る途中にも結構ありますよ。2系統のバスに乗れば厳島神社（篠原北町）、ゴコクさん（兵庫県護国神社）や五毛天神（正式には河内國魂神社）にそれぞれ福德円満、学業成就などの神様が祭ってあるし、歩いてくれば王子公園に商業繁栄の王子神社があります。あなたの住んでいる町にもどんな神社があるか探してみると面白いですね。